

中野区環境マネジメントシステム行動指針

<基本理念>

中野のまちの生活や事業活動は、今日まで大きく発展すると同時に、地球環境に大きな負荷を与え続けてきました。都市部に位置し、人口密度が高く、業務が集積している地域は、多くのエネルギーを消費し、区民生活や業務を維持するため、多くの二酸化炭素を排出しています。

中野区は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「中野区ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。これからの中野を持続可能な活力あるまちとして次の世代に受け継ぐためには、中野区も一事業者として脱炭素社会の実現に向けた課題に真摯に向きあい、全庁を挙げて、事業活動の全ての面において、環境負荷の低減や環境の質の向上に資する取組みを推進することが不可欠です。

このような認識のもと、中野区は環境に配慮した行動を着実に実践していきます。

<行動指針>

- 1 環境に配慮した行政運営を進めます。
- 2 省エネを徹底し、エネルギー消費量を削減します。
- 3 ペーパーレス化を徹底し、紙使用量を削減します。
- 4 ごみの発生を抑制し、リサイクルを推進します。
- 5 環境に配慮した物品を調達します。

2024年3月19日

中野区長 酒井 直人